ラベル・シール用途で実績を持つ高性能UVインキ

UV 161 シリーズ

『ＵＶ　１６１シリーズ』は、ＰＥＴ紙・メタルホイル紙・塩ビ・合成紙・ＰＥ・ＰＰフィルムなどの非吸収原反に優れた密着性を発揮する紫外線硬化型インキです。高い乾燥性と耐溶剤性を備え、ラベル・シール印刷から一般印刷用途まで幅広く対応します。

▶▶▶ 主な特長

高密着性	フィルム・非吸収原反に優れた密着性
高乾燥性	安定したUV硬化性能を実現
優れた耐溶剤性	各種用途で高い耐久性を発揮
ラベル用途に最適	シール・ラベル用途で豊富な実績
フィルム・紙兼用	非吸収原反から一般紙まで対応
高耐久用途対応	各種産業用途ラベルに対応

▶▶▶ 使用用途

- 合成紙
- メタルホイル紙
- 食品ラベル
- 医薬品ラベル
- 工業用ラベル

※当該製品は、
食品への直接接触用途を想定しておりません

▶▶▶ 対応原反

一般紙	○	サーマル紙	×
カートン紙	○	PET	△
合成紙	○	PP	△
メタル紙	○	PVC	△
タック紙	○	カップ	×

適性高 ○ ⇔ × 適性低
表面の材質や処理により密着性が異なります

▶▶▶ 性能評価

項　　目	評　　価
硬 化 性	★★★★☆
密 着 性	★★★★☆
耐摩擦性	★★★★☆
流 動 性	★★★★☆
原反適応性	★★★★☆

▶▶▶ ラベル用途製品比較

製　品　名	UV	LED-UV	BM	密着性	硬化性
UV 161	○	-	-	Good	Good
UV CORE TYPE-U	○	○	-	Excellent	Excellent
UV SE BM	○	-	○	Good	Normal

UV 161 シリーズ

主要性能

基準色および耐性表

色	耐光性		耐熱性	耐石けん性	耐溶剤性
	濃　色	淡　色			
黄	4	3	4	5	5
紅	4～5＊	3＊	4	2	4
藍	8	7	5	5	5
墨	7～8	4	5	2	2
メジウム	8	–	5	5	5
白	8	7	5	5	5
濃黄	5	3	4	5	5
金赤	4～5	3	4	3	4
マゼンタ☆	4＊	2＊	2	1	2
紫	7～8	7	5	5	5
グリーン	8	7～8	5	5	5
超耐光性 黄	6～7	5～6	5	5	5
超耐光性 コンク 金赤	6～7	5～6	5	5	5
超耐光性 プロセス紅	6～7	5～6	5	5	5
耐光性 紅	5～6	3～4	5	5	5
SR 黄	8	7	5	5	5
SR 朱	8	7	5	5	5
SR レッド	8	7	5	5	5
SR ローズ	8	7	5	5	5
ハイコンクブラック	7～8	5	5	2	2
コンク白	8	7	5	5	5

耐光性 ：　8（優）⇔1（劣）、　その他 ：　5（優）⇔1（劣）
☆　：　水(結露を含む)のかかる環境で、マイグレーションを起すことがあります。
＊　：　水に濡れた状態では、耐光性が極端に悪くなります。

<試験方法>

耐光性　・・・　印刷物をフェードメーターにて照射試験し、暴露時間と変褪色の程度により強度を8段階に分級。
希釈しない濃色とメジウムで5倍に希釈した淡色を試験。
※カーボンアーク条件での分級

耐熱性　・・・　印刷物を150℃の熱風循環式乾燥機中で10分間加熱し、変褪色の程度により強度を5段階に分級。

耐石けん性　・・・　印刷物を10％の石けんゲルに20～25℃で1時間付着し、変褪色の程度および石けんゲルへのブリードの程度により強度を5段階に分級。

耐溶剤性　・・・　印刷物をトルエンとアセトンの1：1混合液に20～25℃で24時間浸し、変褪色および混合液へのブリードの 程度により強度を5段階に分級。

ラベル・シール用途で実績を持つ高性能UVインキ

UV 161 シリーズ

▶▶▶ 規制対応・環境認証

NL 印刷インキ工業会	VOC FREE T&K
▪ NL規制対応	▪ VOC含有量１％未満

▶▶▶ 注意事項

- 非吸収原反へ印刷した印刷物が屋外もしくは水（結露を含む）のかかる環境に置かれた場合、接着力が低下して爪などによって簡単に剥がれることがありますので、ご確認願います。
- “ＵＶ１６１ハイコンクブラック”は補色に耐性の弱いアルカリブルートナー顔料を使用しています。ＰＰ貼りなどの印刷後加工を行なう場合やレトルト加工等の印刷物製品の必要物性については予め予備試験をおこなって適性をご確認ください。
- “ＵＶ１６１コンク白”の密着性能は他の“ＵＶ１６１”と比較して劣る傾向にあります。別途、密着性をご確認願います。
- インキ盛り過ぎやランプの劣化により、硬化不良・密着不良が発生する可能性がありますので、ご注意ください。
- 助剤・洗浄剤・版材については、ＵＶインキ用のものをご使用下さい。
- 火気に注意し、作業場は十分に換気し、紫外線や直射日光を避けて取り扱って下さい。吸い込んだり、目、皮膚及び衣類に触れない様に適切な保護具を着用下さい。衣類等に付着した場合は、直ちにその汚れを落とし着替えて、汚れ部分が長時間接触することを避けてください。取り扱い後は、手洗いとうがいを十分に行って下さい。
- 目に入った場合、直ちに多量の水で１５分間以上洗い流し、眼科医の手当を受けてください。皮膚に付着した際は、汚染衣服や靴等の汚れを落とした後、付着部または接触部を石鹸水で洗浄し、多量の水を用いて洗い流してください。もし、皮膚に炎症やかゆみを生じた場合には、直ちに医師の手当を受けてください。

- 記載のデータは、当社の試験方法による実測値であり、規格値ではありません。ご使用に際しては、貴社使用条件に適合するかを必ずご確認願います。なお、本文中の用途はいかなる特許に抵触しないことを保証するものではありません。
- 製品改良のため、予告なく内容を変更することがあります。
- 製品使用の際は、必ず事前に安全データシート（ＳＤＳ）をご一読願います。